事業完了報告書

提出日：　2023　年　　5 月　　31 日

1．事業概要

（1）資金分配団体名：更生保護法人日本更生保護協会

（2）事業名：安全･安心な地域社会づくり支援事業

（3）事業実施期間：2019 年 11 月 20 日～ 2023 年 3 月 31 日

（4）実行団体名：更生保護法人ウィズ広島、更生保護法人清心寮、更生保護法人滋賀県更生保護事業協会、特定非営利活動法人 TFG、特定非営利活動法人ジャパンマック、特定非営利活動法人両全トウネサーレ、特定非営利活動法人のわみサポートセンター、特定非営利活動法人愛知県就労支援事業者機構、特定非営利活動法人神奈川県就労支援事業者機構、全国再非行防止ネットワーク協議会

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。 整備はすべて完了しているが、一部改正案を作成中である。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☐　全て公開した　／　☑　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 文書管理規定については、整備はされているが、内容が更新されていないため、現状に即した更新作業中である。 公開予定日は令和 6 年 3 月下旬。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☐ 内部に窓口を設置 ／ ☑ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス委員会を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。

（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 監事による監査/2023 年 5 月 12 日実施
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☑ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	・NEC より、実行団体に向け、備蓄米の贈呈式の記事掲載（JANPIA サイト） ・調査研究チーム共催シンポジウム記事掲載（JANPIA サイト）
広報制作物等	有	当協会発行の「更生保護」誌（発行約 5 万部）において、2022 年 5 月号から 2023 年 2 月号にかけて、全実行団体の事業について紹介した。
報告書等	無	

5. 実行団体への事業完了時監査

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

実行団体への事業完了時監査は実施しましたか。
☑ 実施済み ／ ☐ 実施予定（完了予定時期： ）

→上記で「実施済み」を選択した場合、どのような評価できる点や課題があったか、その他気づいた点などを記載してください。

小規模で、将来的な事業継続や雇用の安定のための基盤が弱い団体において、給与規定等は、整備する意味を見いだせない、公開することで不利益になる等の声があり、なかなか整備に前向きになれなかった。事業開始時から、この事業を実施する条件として、整備の必要性について伝えていく必要があると感じた。

6. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

当協会が支援する実行団体は、公益性が高く、収益を上げることが難しい事業を行っており、事業を継続するには、公的な補助金や助成金を獲得する手段をとることが多い。10 実行団体のうち数団体は、自治体に働きかけを行い、独自事業として補助金を得て事業継続に至っている。一方で、支援のノウハウはあっても人的・物的な基盤が弱く、助成金獲得の事務負担に手上げを躊躇する団体もある。そういった小規模で基盤の弱い団体に対しては、民間資金獲得のための公募情報等の伝達や、公募に応じて書面資料が作成できるような事務的な基礎体力をつける支援等、出口戦略や基盤整備について、具体的な支援ができていくとよいと思った。

【添付資料】

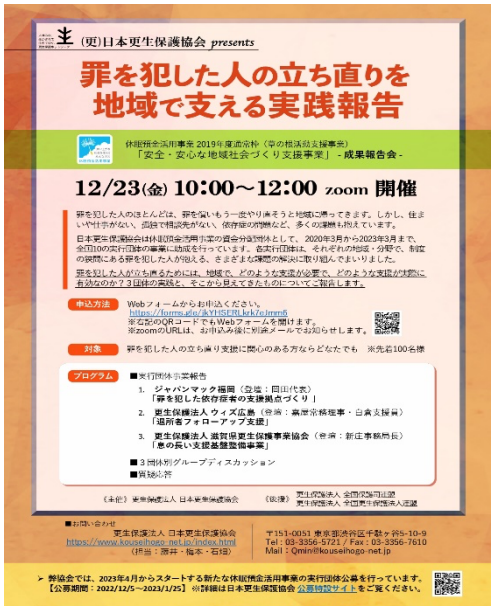
活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

【成果報告会】



12 月 23 日に、2019 年度事業の成果報告会をオンラインにて実施しました。罪を犯した人が立ち直るために、どのような支援が必要なのか、実践から見えてきたものをテーマに、実行団体であるジャパンマック福岡、更生保護法人ウィズ広島、更生保護法人滋賀県更生保護事業協会の 3 団体に登壇いただき、実践報告とグループディスカッションを行いました。100 名を超える方にご参加いただきました。

【備蓄米寄贈式の様子】

JANPIA の仲介を通じ、NEC が日本更生保護協会の実行団体に対し、プロボノ支援（シンポジウムの映像配信など）を行ったことをきっかけに、人・モノ・資金等が不足している現場の課題を知っていただき、備蓄米の寄贈に繋がりました。寄贈いただいた災害用備蓄米（1150 食）は、全国の更生保護関係団体の中から希望のあった 6 団体に贈られました。

写真は 2023 年 4 月 5 日（水）、更生保護会館にて行われた、備蓄米の寄贈式の様子。

【調査研究シンポジウムの様子】

2023 年 3 月 23 日（木）、JANPIA と日本更生保護協会の共催により、「休眠預金活用事業・調査研究シンポジウム“罪を犯した人の立ち直りを地域で支えるために～地域の生態系の視点から～”」が開催されました。本シンポジウムは、JANPIA が委託した調査研究チームが、日本更生保護協会の 3 つの実行団体（ジャパンマック・TFG・滋賀県更生保護事業協会）を対象に行った調査・研究の成果を地域の再犯防止の取組みに生かすことを目的に行われました。当日は、調査研究報告を受け、各実行団体を交えたパネルディスカッションの後、フロアディスカッションが行われ、意見交換が盛んに行われていました。